

# 視察研修報告

9月19、20日に2つの委員会合同で長野県辰野町と長野県伊那市を視察しました。

## 総務産業委員会

令和5年9月19日、所管事務の視察研修を実施しました。

### 調査事項

長野県辰野町を訪れ、空き家対策・移住推進について調査しました。

#### (1)辰野町の概要

辰野町は日本列島のほぼ中心、中央アルプスと南アルプスの間に位置し、自然豊かな町。人口約1万8千人。町内にはJR飯田線の4駅、JR中央線の3駅があり、国道153号線と国道、高速中央自動車道が通っている。平成から令和に入り、人口が2万4千人から1万8千人、世帯数約7600軒に減少していった。

#### (2)空き家対策の取り組み

##### 「たつの暮らし相談室」

町は移住推進を重要施策として取り組み、町の職員は水道が止まっている約千軒を一軒一軒自動車で行き、細かく状況を

## 空き家成約177件の辰野町へ視察研修

調査した。結果529戸が空き家だった。空き家も財産と考え、有効利用するために「たつの暮らし相談室」を開設し、ウェブサイトで相談にのる体制を作った。物件を空き家バンクへ登録してもらいウェブサイトで公開、地元の4不動産事業者と協力して空き家所有者と移住希望者とのマッチングを開始した。

#### (3)ユニークな制度と充実した支援策

家財道具の処分、リフォーム、仲介手数料の支援補助金等、きめ細かい支援策を用意した。マッチングでは売主・貸主が移住者を選ぶ「さかさま不動産」などの制度を活用した。

売買物件の価格は200万円〜500万円。定住促進のため「移住体験」やDIYイベントなどを企画推進した。即ち、不動産所有者と移住希望者の両方の立場になってきめ細かい支援をしている。

#### (4)移住実績

平成26年〜令和4年の9年間で、空き家登録数238件、成約数177件。成約率約75%（全国平均は50%以下）と高い成約率となった。移住者は県内427人、県外から164人。



HPで移住定住から、ライフスタイルにあわせてサポート！

YouTube JP で町の魅力や事例を紹介



#### (5)トビチ商店街

とびとびの店舗を連携し、空き店舗を利用してイベントを企画。仲間作りとまちおこしを实践。

(関根委員長)



長野県辰野町にて

## 視察研修を終えて

### 《総務産業委員会》

職員が情熱ある対応をしている「たつの暮らし相談室」は、有効な情報発信になっている。

また、空き店舗を借りて集まったイベントをきっかけに、お店を開いたり、遊びに来た人が開業したりしている。

(根岸)

5年間の空き家の成約率が7割余りと極めて高い。要因は、専任の職員を配置、お試し移住の実施、情報発信協力隊の存在など成功の「力ギ」を感じた。

(石井計次)

辰野町は中央・南アルプスに囲まれ、清流天竜川が流れ、自然環境良好。空き家物件価格も低廉で、東京との2拠点生活者も現れている。移住促進への職員の熱意にも感動。

(日坂)

空き家バンクの高い成約率の背景には、利用しやすい補助金等の制度設計、不動産業者との連携だけでなく、何よりも空き家を資源として捉えて取り組む職員の熱意によるものだった。

(大賀)

空き家バンクの取り組みについて、登録件数、その契約率の高さ、更には職員の取り組み情熱にも驚いた。環境や市場の違いはあるが鳩山町でも辰野町の手法を取り入れたい。

(石井徹)

# 常任委員会レポート

## 福祉文教委員会

## 切れ目のない子育てサポート

## 長野県伊那市

令和5年9月20日、所管事務の視察研修を実施しました。

### 調査事項

長野県伊那市を訪れ、「長野県一の子育てサポート」子育て支援について視察研修しました。

### ① ママヘルプサービス

家事や育児の支援を必要とする産褥期の母親のいる世帯にヘルパーを派遣することにより、精神的及び肉体的負担を軽減し産後の生活を支援する事業で、対象者は一歳未満の子を持つ保護者です。伊那市社会福祉協議会に業務委託されています。出産前の準備段階から、本人・ヘルパー・保健師で話し合いをするとのこと。

午前8時半～午後5時までの間で1時間～2時間、20日まで。1時間あたり3000円、個人負

担金5000円です。

令和4年度の利用者数は8人で直近3年間は大きな変化はありません。利用日数は、令和元年度56日でしたが、令和4年度は101日と増えているということです。

課題としては、ヘルパーの人数が少なく希望する頻度で訪問ができないこと、今後の利用者の増減予測が難しいことが挙げられています。

### ② 産後ケア事業

母子で医療機関、助産所に入所又は日帰りで必要な支援を受ける制度を利用できる。伊那市から補助が受けられます。対象者は

- ・ 出産後、身体的・心理的ケア及び保健指導・栄養指導が必要な人
- ・ 育児や授乳について、具体的な指導及び相談が必要な人
- ・ その他産後の経過に配慮した生活面等について

相談や支援を必要とする人

利用期間は、出産日の翌日から12カ月を経過するまで、利用日数は7日以内で、1日あたり利用料の10分の7に相当する額を補助します。

令和4年度の利用件数は11件、宿泊利用が多いとのこと。

利用できる医療機関、助産所が13施設あり、広域で連携して行っているそうです。

長野県が、助産所の設置費用を補助し、推進しています。

安心して出産できるよう、困っていることに寄り添い、切れ目のない子育てサポートだと思えました。鳩山町も広域で医療機関、助産所等、施設の充実が必要であると感じました。

(中山委員長)



長野県伊那市にて



子育て支援策の説明を受ける委員

### 《福祉文教委員会》

安心して子どもを産み育てることができ環境・しくみ作りは、必須要件。伊那市は産後の支援体制の充実が素晴らしかった。鳩山でもできることから取り組みたい。

(野田)

長野県伊那市で、家事や育児の支援を必要とする母親に、精神的及び肉体的負担を軽減する、産後ケア事業を視察しました。育児の大変な母親の休息等、利用者全員の不安を改善できていることは高く評価したい。

(松浪)

9月20日伊那市での行政視察があり、子育てサポートについて学んできました。行政が育児支援という形でお母さんたちに寄り添い、共に子育てをしている姿がよくわかりました。

(小鷹)

安心して子どもを産み育てるための産後ケア事業の充実など妊娠・出産・育児に対する切れ目のない様々な伊那の施策。鳩山でもこうした取り組みをコツコツと行っていきたい。

(清水)